



# 南アルプスに抱かれし故郷のため 志高く行動し続けることを誓う

1977年、全国で618番目のLOMとして峡西JCは誕生しました。峡西とは山梨県西部の合併前旧6町村の地域名です。現在の市名でもある南アルプスにちなんだLOM名は、創立当初からのわれわれの運動の象徴でもあります。そう断言できるのは「峡西はひとつ」を合言葉に当時から一貫して提唱し続けた市制推進運動が住民主導により実現したからです。当初は周囲からの理解も得られず、行政からの反発も強かったそうです。中には「若

僧が生意気を言うな、JC出入り禁止」などという手厳しい人もいました。それから21年、先輩方はそんな世論に屈することなく「正しいと思つた道」を貫き、98年の合併特例法改正の追い風を受け、初代理事長小林寛樹を会長とする「峡西地域市制推進協議会」を設立。住民発議による合併協議会設置請求のため署名運動を展開。有権者の42%の驚異的署名を提出。そして、協議会設置から合併調印までを住民パワーにより運ぶことができました。

この活動については当時の日本JCや関東地区の褒章もいただき、他のLOMや地域にも大いに参考にさせていただきました。何よりこの合併について自負することは、初代南アルプス市長をはじめ、多くの市民に「合併の立役者はJCだ」という認識をいただいていることです。また、全国唯一のカタカナ市名である「南アルプス」についても、シニアメンバーの尽力が大きかったことも付け加えておきます。シニアクラブの会員数は現在、91名と大所帯になりました。チャーターメンバー

は南アルプス市を背負って立っている方ばかりで、市商工会長、市議員など公にも大活躍です。さて、クラブとしての通常の活動は、新年総会、親睦ゴルフ大会、納涼会です。会員相互の親睦を図りながら社会の問題について語り合う機会となっています。昨年はオール山梨シニアの会員大会を主管し、近年にない登録を得、大盛況に導いたこともわがLOMの底力の現れです。そしてまた、同年創立30周年を迎えた南アルプスJCは、3年目となる新市とともに理想的な地域ビジョンを描き、新たに「我々南アルプスJC(Jaycee)は自らがまちづくりを担える人間となり 夢と希望にあふれる愛すべき地域社会実現のため 大いなる南アルプスの山々に抱かれある故郷(ふるさと)と共に 志高く行動し続けることを誓う」との宣言をいたしました。今後も愛すべき故郷のため、現役に負けぬよう頑張つてまいります。

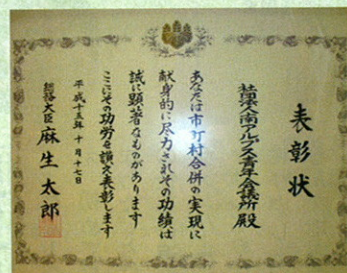
山梨JCシニアクラブ役員大会



オール山梨シニアクラブ会員大会にてあいさつする大木会長



創立30周年記念式典にて



合併の功績で総務大臣表彰

は南アルプス市を背負って立っている方ばかりで、市商工会長、市議員など公にも大活躍です。さて、クラブとしての通常の活動は、新年総会、親睦ゴルフ大会、納涼会です。会員相互の親睦を図りながら社会の問題に

南アルプスJC  
シニア・クラブ会長 大木俊隆  
日本JCシニア・クラブ  
山梨ブロック担当幹事 荒井義信